

第1章 企業にとってのリスク管理の重要性

1	基本的な考え方	6
2	食品企業にとって考えられるリスクの例	9
	(1) 主として企業の経営に関するリスク	
	(2) 主として企業の製造等に関するリスク	
	(3) 主として企業外に存在するリスク	
3	リスクへの対応	10
	(1) できる限り事故が発生するリスクを排除または低減すること	
	(2) 事故発生時には拡大・混乱を最小限に抑えること	
	(3) 危機収束時には再発防止・信頼回復に取り組むこと	
	(4) 製造工程、流通過程、小売店頭での意図的な異物混入やいたずら等の防止対策	
	(5) PB食品の食品事故に対する事前の対策について	
	(6) SNS等への対応について	

第2章 食品事故の防止とその対策

1	基本的な考え方	20
	(1) 品質管理に関する方針や目標の明確化	
	(2) 品質管理体制の見直し	
	(3) 教育・訓練の強化	
2	企業における食品事故防止対策	22
	(1) 食品工場における具体的対策	
	(2) 「食品安全マネジメントシステム」を導入している食品工場における具体的対策	
	(3) 正確な表示を行うために	
	(4) 異物混入（意図せざる混入）を防止するために	
	(5) 微生物汚染を防止するために	
3	食品防御	38
	(1) 食品防御の必要性	
	(2) 食品防御とは何か	
	(3) 食品防御の具体的な取り組み	

第3章 食品事故の拡大防止と発生時の対応

1	基本的な考え方	46
2	平常時における対応	47
	(1) 「事故対応マニュアル」の必要性	
	(2) 「事故対応マニュアル」の作成と実効性の確保	

3	事故発生時の初期対応	48
	(1) 製品回収の現状の問題点	
	(2) 事象を「事故」として捉えることのできる感度と情報ルート	
	(3) 事実確認	
	(4) 事実確認結果の整理と監督官庁への届出	
	(5) 製品回収の考え方（物理的要因、化学的・生物的要因、表示関連の場合）	
4	重大な食品事故が生じた際の対応	62
	(1) 組織体制の設置	
	(2) 初期対応	
	(3) 原因究明	
	(4) 広報、お客様相談室等、外部と直接関係する部署への対応	
	(5) 従業員、派遣・契約社員等、同じ会社で働く人への対応 （外部と直接関わる担当部署以外の従業員）	
	(6) 被害者への対応	
	(7) 所轄の保健所等の行政への対応	
	(8) 各種報道機関への対応	
	(9) 消費者への対応	
	(10) 流通、取引先への対応	
	(11) 関係する業界、団体への対応	
5	危機収束段階の活動	74
	(1) 再発防止のための見直し	
	(2) 信頼回復のための活動と広報	
	(3) 危機対応の事後評価	
	(4) 製品回収を実施した場合の状況整理	
6	最後に	76

第4章 参考資料

1	食品への意図的な異物混入対策チェック項目（例）	78
2	食品防御	87
3	SNS等のネガティブ情報に対して企業がSNSで対応する方策について	106
4	社告掲載項目・社告事例	113
5	社告費用について	116
6	製品回収制度等について	117
7	関連する法律等	122